

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～

ブレイキン(ダンス) 河合来夢選手(BGIRL RAM)

川崎市に住んでいる子どもたちのみなさん、こんにちは、はじめまして。

ユースオリンピックブレイキンというダンスの種目で、女子と男女混合金メダルをとった河合来夢です。

今、コロナウイルスで、どこの学校も休校中だと思うのですが、みなさんは、この自粛期間をどのようにして、おうちで過ごしていますか。私の大学では、オンライン授業が始まり課題も出ているので、取り組んでいたり、空いている時間に家でできる有酸素運動や筋力トレーニング、できる日にできる時間帯で家の前で練習をしたりして毎日過ごしています。

私は昔、お母さんがダンススタジオに連れて行ってくれたことがきっかけで5歳の時からブレイクダンスをやっています。小さい時からダンスをやっているのですが、周りの方からは、運動神経が良いと思われやすいのですが、実際にバスケットボールやテニスなど他の競技をやってみると、「すぐに、この技ができた」とか、「すぐに、このラリーが続いた」というのは、あまりありません。ですが、小さい時から体を動かすことが好きだったので、友達とかくれんぼをしたり鬼ごっこをしたりドッジボールをしたりして明るく元気に過ごしていました。だいたい5歳から小学校3年生くらいまでは、ダンスを習い事としてやっていたので、放課後に友達と遊ぶということが多かったのですが、小学校4年生くらいの時から、ダンスの大会にたくさん出るようになり、ダンスで勝ちたいという気持ちに変わっていきました。なので、学校で友達と話をしたり、遊んだりして放課後にダンスの練習を家でするという生活にだんだんと変わっていきました。

これだけ長くダンスを続けているので、こんな自分でもつらかったことはあります。皆さんも、体がだるい日や、やる気の出ない日はありませんか。私も、そのような日があるのですが、そのような時に体を動かすと、とてもつらく、うまく思うように動けません。小さい頃はそれでも練習をしないとお母さんに怒られていたので、とてもつらかったです。ですが、人前で踊った時に、先生や周りの方、知らない方にも「格好良かったよ」と言われるたびに、それまでのつらさが喜びに変わりました。それを知った時から、つらいことも乗り越えられるようになりました。頑張った分がちゃんと自分に返ってくるということを知ったからです。

私だけではなく誰でも、頑張れば頑張った分だけちゃんと自分に返ってきます。頑張ることは、とてもつらく苦しいことです。それでもお父さんやお母さん、友達が支えてくれます。どんな自分になりたいのか思い描くことが大切です。

私は川崎の子どもたちを応援しています。一緒に頑張っていきましょう。